

資料4

会議録該当ページ

No.	委員	質問・意見要旨	市の考え方	担当部局	担当課	
資料1 計画の基本理念等(案)						
1	川村おさむ委員 (函館市私立幼稚園協会)	資料1 P1 ・理念の中にどうやって市民一人一人が自分たちの住んでいるまちに誇りをもって働いて住んで子どもをつくって育てていけるかということを考えるべきだと思います。 ・函館に生まれて育って、住んで幸せという言葉も必要だと思います。	I 基本理念の中の「子どもたちの輝きは、家庭や地域へつながり、やがては、市民一人ひとりが喜びに満ちあふれ、生き生きと「ひかり」輝いていく、～後略」という表現が、直接的ではありませんが、ご意見の内容を表していると考えております。	子ども未来部	子ども企画課	AグループP2 全体協議P4
2	本田委員 (函館大学)	資料1 P1 子どもが輝くためには大人が輝くという視点はすごく大事だと思ったので、基本理念I(資料1の1ページ)の部分に子ども大人も夢や希望をもって輝いていけるというような、すべての子どもだけではなく、大人や市民みんなが輝けるといようなニュアンスが入って来るとメッセージ性が強くなるのかなと思いました。 また、自分らしさや個性や多様性が尊重されるというようなニュアンスが、最近求められているのでそういった要素も入ると良いなと考えていました。	I 基本理念の中の「子どもたちの輝きは、家庭や地域へつながり、やがては、市民一人ひとりが喜びに満ちあふれ、生き生きと「ひかり」輝いていく、～後略」という表現が、ご意見の内容を表していると考えております。 「個性や多様性が尊重され」といった表現につきましては、こども大綱においても記述があり、文章への反映を検討し、第4回の会議において、お示ししたいと考えております。	子ども未来部	子ども企画課	AグループP2 全体協議P4
3	成田委員 (公募委員)	資料1 P1 大人が隣の人や近くにいる人、職場の人、友達を大事にしようということがメッセージに入ると良いかなと感じました。	I 基本理念の中の「地域において、人と人のふれあいや支え合い、助け合いのなかで～中略～笑顔や歓声に包まれた地域社会の構築をめざす」という表現がご意見の内容を表していると考えております。	子ども未来部	子ども企画課	AグループP3 全体協議P4
4	玉利委員 (道南地区私立幼稚園連合会)	資料1 P2 外からどう見えているのかというところは、2ページの「5 サービス利用者の視点」で、「情報公開やサービス評価などの取組みを進める」とあります。第三者が良いと思うサービスの提供を考えるとこの評価の視点を今後市としてどのようにしていくかが非常に重要だと思います。	重要な取組みであると認識しており、貴重なご意見として承りたいと考えております。	子ども未来部	子ども企画課	AグループP4 全体協議P4
5	本田委員 (函館大学)	資料1 P1 【会議後提出の質問・意見】 基本的な視点「2 次代の親の育成という視点」の1行目の「様々な学びや体験を通じて」の部分、 「様々な遊びや学び・体験等を通じて」と「遊び」も加えると良いと思いました。	該当部分を「様々な遊びや学び・体験等を通じて」に修正し、第4回の会議において、お示ししたいと考えております。	子ども未来部	子ども企画課	—
6	本田委員 (函館大学)	資料1 P2 【会議後提出の質問・意見】 基本的な視点「4 地域社会全体で支援する視点」の1行目冒頭の「子育ての基本は家庭にありますが、～」の部分ですが、家庭の役割や責任を強調するような印象を与えてしまうのではないかとやや気になりました。この視点の主旨は家庭・地域・学校・企業・行政・民間団体等が連携し、それぞれの立場・役割で子育てを支えていくことだと思います。家庭での養育が困難な状況でも、地域や社会に支えられ育っていく子ども・若者もたくさんいると思いますので、冒頭部分は削除するか、別の表現に変更できないかご検討いただければと思います(例えば、「家庭での関わりは、子どもの心身の成長や人格の形成に重要な役割を果たします」とか、「家庭は子どもの成長や発達に大きな役割を担っています」など)。	こども基本法第3条第5号に基本理念として「こどもの養育については、家庭を基本として行われ、～後略」と規定されていることから、法律に準じた表現になっていると考えております。	子ども未来部	子ども企画課	—

No.	委員	質問・意見要旨		市の考え方	担当部局	担当課	会議録該当ページ
7	本田委員 (函館大学)	資料1 P2	【会議後提出の質問・意見】 基本的な視点「7 結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援の視点」について、結婚の前の段階で若い世代の生活基盤の安定が必要だと思いき、育児に関しても、必要な支援が特定の年齢で途切れることなくライフステージに応じて切れ目なく対応・支援していくことが求められていると思います。文章中最後の「結婚・妊娠・出産・育児の切れ目のない支援の視点に立った取組みを進めていきます。」の部分を、「就労・結婚・妊娠・出産・育児等の各段階に応じて切れ目のない支援の視点に立った取組みを進めていきます。」とするのはどうでしょうか。	「就労・結婚・妊娠・出産・育児等の各段階に応じて切れ目のない支援の視点に立った取組みを進めていきます。」に修正し、第4回の会議において、お示ししたいと考えております。	子ども未来部	子ども企画課	—
8	浜委員 (北海道函館児童相談所)	資料1 P4	【会議後提出の質問・意見】 施策の方向（10項目）と記載されていますが、11項目の誤りではないでしょうか。	11項目の誤りです。なお、施策の方向の項目数につきましては、体系を見直し、9項目としたいと考えております。	子ども未来部	子ども企画課	—
資料2-1 具体的な施策の展開（案）前編							
施策の方向1 地域における子育て支援							
1 地域における子育て支援サービスの充実							
9	川村おさむ委員 (函館市私立幼稚園協会)	-	小学校に進学する際に、習い事の接続がうまくいかず、親たちが就労を諦めてしまうというのが実際に出ています。放課後児童クラブの利用をもっと増やすために、習い事とどう接続するのか考える必要があると思います。	習い事に限らず、学校や家庭以外の様々な体験や学習は、子どもが成長するうえで重要な役割を果たしていると考えておりますが、家庭の経済事情により習い事に通えない子どもがいることを踏まえると、公平性の観点から市としての対応は難しいものと考えております。	子ども未来部	子ども健やか育成課	AグループP5 全体協議P4
10	吉増委員 (函館市学童保育連絡協議会)	-	放課後児童クラブも幼稚園・保育園と同様に、収入で保育料を決めるというようにしてもらえると低所得者の人たちが学童に入りやすくなるのかなと思います。	放課後児童クラブの利用料は、各事業者が設定しており、クラブによっては独自の減免制度を設けているところもありますが、市といたしましては、子育て世帯の負担軽減を図るため、利用料を軽減するための委託料の加算を段階的に増額してきたところであります。	子ども未来部	子ども健やか育成課	AグループP6 全体協議P4
11	吉増委員 (函館市学童保育連絡協議会)	-	放課後児童クラブの職員の処遇について、ずっと据え置きで何年も上がっていないので改善してほしいです。	各クラブの職員の賃金は、クラブの運営主体が決定しておりますが、クラブに対する本市の委託料は、国の補助基準額を基本として算定しており、国の補助基準額の増額に伴い、市の委託料についても年々増額してきているほか、従来、職員の処遇改善に必要な経費に対する加算を設けて委託料を算定しているところであります。 しかしながら、実態としてはクラブの運営が厳しい状況にあり、なかなか改善が難しい状況にあると認識しておりますことから、現状の把握に努めてまいります。	子ども未来部	子ども健やか育成課	AグループP6

No.	委員	質問・意見要旨		市の考え方	担当部局	担当課	会議録該当ページ
12	浜委員 (北海道函館児童相談所)	資料2-1 P4	4ページで入所率が出ていますが、放課後児童クラブを経済的な理由で使いたいけど使えないという人もいるというところで、実際に希望されている方が全員入所できているのかということがわからないものになっています。	令和5年度に実施したニーズ調査において、経済的な理由に限らず様々な理由で、放課後児童クラブを利用していない方がいることが判明しており、必ずしも利用を希望する方全員が利用できているとは言えないものと認識しております。 経済的な事情への対応については、利用を希望する方が利用できるよう、これまで市が独自に、利用料を軽減するための委託料の加算を段階的に増額するなど努めてきましたが、現状としては利用をあきらめる方もいるものと認識しておりますことから、引き続き、委託事業としてのあり方について検討を進めてまいります。	子ども未来部	子ども健やか育成課	AグループP6
13	玉利委員 (道南地区私立幼稚園連合会)	-	外部から来る人に対しても子育てしやすいまちをアピールすると自ずとそこに生活している人も生活しやすいまちになると思います。	市の子育て支援に関する取組については以下により周知に努めています。 ・移住ガイドブックに子育て関連情報を掲載し市内各所や道外イベントで配布 ・東京ふるさと回帰支援センターの常設ブースに移住ガイドブックなどの資料を配架 ・市の移住促進ホームページに「はこすく」「はこだて健康ナビ」のリンク掲載 また、移住サポートセンター（地域交流まちづくりセンター内）や市の移住・人口減担当の職員による相談対応においても子育て支援の周知に努めています。	企画部	移住・人口減担当	AグループP9 全体協議P5
14	玉利委員 (道南地区私立幼稚園連合会)	-	子どもにやさしいサービスの提供や、子育てしやすい職場環境にしている企業に対し、優良企業であることのお墨付きを与えると思います。	国においては、仕事と家庭の両立支援等に積極的に取り組み、一定の基準を満たした企業について、申請によって「子育てサポート企業」として認定する制度（くろみん制度）を実施していることから、市としてもこのような制度の周知を図ってまいりたいと考えております。	経済部	雇用労政課	AグループP9 全体協議P5
15	本田委員 (函館大学)	資料2-1 P4	【会議後提出の質問・意見】 4ページの「放課後児童クラブ（学童保育）の利用状況の推移」の表ですが、低学年の方が利用ニーズが高いと思われるため、学年別または低学年(1～3年)・高学年(4～6年)別の入所児童数・入所率の内訳や、定員数なども示していただくことは可能でしょうか（表中でも文章中でもかまいません）。 現状で、保育所・幼稚園から小学校への移行時（小学校入学時）に学童への入所を希望する方の受け入れが可能な定員枠を確保できているのか、また、年度の途中や小学校2年生以上からでも保護者が就労を希望した時には随時入れるような定員の空きがあるのか気になりました。	学年別または低学年(1～3年)・高学年(4～6年)別の入所児童数・入所率の内訳や定員数などについて、記載方法を検討のうえ、第4回の会議において、お示ししたいと考えております。 また、放課後児童クラブの定員枠については、市全体では、利用児童数を上回る定員を確保できておりますが、小学校区によっては、年度ごとの利用者のばらつき等により、職員数の基準を満たしたうえで、一時的に定員を超えて受け入れを行う場合もあります。 本市においては、少子化が進行するなかにあっても、共働き世帯の増加等により利用児童数が増加してきており、利用児童数の増加に合わせてクラブ数を増やしてきたところであり、今後におきましても利用ニーズに対応できるよう適切に対応してまいりたいと考えております。	子ども未来部	子ども健やか育成課	-

No.	委員	質問・意見要旨	市の考え方	担当部局	担当課	会議録該当ページ
2 保育サービスの充実						
16	吉増委員 (函館市学童保育連絡協議会)	- 小学生の子どもが遊べる屋内の施設があると良いです。	市内において、屋内で遊ぶことができる公共施設としては、各児童館や亀田交流プラザの児童コーナー、函館アリーナのキッズルームのほか、はこだてキッズプラザのように商業施設に併設されたものなどがあります。 今後、屋内施設を新たに公共施設として整備することは、財政負担の面からも難しいところですが、既存の施設において、それぞれの利用ニーズに応じた対応策を検討してまいりたいと考えております。	子ども未来部	子ども企画課	AグループP9 全体協議P5
3 子育て支援のネットワークづくり						
17	山崎委員 (函館市PTA連合会)	- 子育てサロンの時間帯が広がるさらには利用されやすくなるのかなと思いました。	子育てサロンは保護者同士の交流等による育児の孤立を防ぐことを主な目的としており、実態としては保育・教育施設に通園する前の、0歳から3歳までの親子の利用が多く、令和6年3月に市HPおよび公式LINEで実施したアンケートでは、サロンを利用しやすい時間帯の回答として9時～12時が45.5%、12時～15時が31.9%となっております。15時以降の開設や土日の開設については、利用者のニーズを踏まえて必要性を判断してまいります。	子ども未来部	子どもサービス課	BグループP1 全体協議P5
18	木村委員 (函館市社会福祉協議会)	- 町会で月に1回実施しているサロン（まめっこサロン）のPRの仕方や時間帯について考えてほしいと思います。	常設サロンのない地区の子育て世帯向けに町会等を会場として開設しているまめっこサロンについては、市広報誌・子育てアプリへの掲載や4か月健診時のチラシ配布等により情報発信を行っており今後も効果的なPRを実施してまいります。	子ども未来部	子どもサービス課	BグループP1 全体協議P5
19	高橋委員 (連合北海道函館地区連合会)	- 子育てアプリ「すくすく函館っ子」の利用者が少ないです。保護者達はスマホを持ってるので、この利用率を上げて情報発信を強化していかなければならないと思います。	本アプリについては、ホームページや冊子等に掲載されている子育てに関する情報等を集約し、子育て世帯が必要な情報を取得しやすくすることを目的として、令和5年7月に導入したものであり、令和6年8月末現在で2,013人となっております。 本アプリの利用普及に向けては、母子健康手帳の交付時や乳幼児健診の際にリーフレットを配布しているほか、市ホームページや市政はこだて、子育て情報誌等にも掲載し周知を図っているところであり、今後においても、利用率の向上につながるよう、周知に努めてまいりたいと考えております。	子ども未来部	子ども企画課	BグループP2 全体協議P5
20	浜委員 (北海道函館児童相談所)	資料2-1 P16 【会議後提出の質問・意見】 P16「主任児童委員や児童委員は、それぞれが担当する地域において、子育て世帯における家庭の状況を把握し～」とありますが、個人情報との兼ね合いもある中で、どのように子育て世帯の情報を周知しているのかご教示ください。	民生委員・児童委員は、個別訪問等の調査活動により、担当地域の世帯状況等を把握することが基本ですが、近年は個人情報保護に関する意識の高まりにより、必要な情報が得られにくい状況もあることから、これを補完するため、本市では、児童福祉法の対象である18歳未満の児童を含む世帯について、住民基本台帳の閲覧により情報を提供しております。 なお、民生委員・児童委員への個人情報の提供については、個人情報の保護に関する法律に基づく取扱いとして、民生委員法や児童福祉法に基づく業務に必要な範囲で認められているところであり、本市においては、65歳以上の方または18歳未満の方を含む世帯に限定して情報を提供しているところです。	保健福祉部	地域福祉課	-

No.	委員	質問・意見要旨	市の考え方	担当部局	担当課	会議録該当ページ
4 子どもの健全育成						
21	野口委員 (函館市小学校長会)	-	校区内に児童館がないと1人で悩みがあって児童館に行って身体を動かしたいというときに行けない、友達を誘わないと行けないという状況があるので、校区内にあると良いと思います。		子ども未来部 子ども健やか育成課	BグループP3 全体協議P6
22	数又委員 (函館市民生児童委員連合会)	-	町民から児童館が古い、老朽化しているという声があります。		子ども未来部 子ども健やか育成課	BグループP4 全体協議P6
23	池田委員 (函館大妻高等学校)	-	図書館と児童館で提携して、図書館に児童館の機能を併せ持ってもらえるようなことが可能であれば子どもたちの居場所になるのではと感じます。		子ども未来部 子ども健やか育成課	BグループP4 全体協議P6
24	高橋委員 (連合北海道函館地区連合会)	-	学校が不登校支援のチームを各学校に作って支援をしているので、そういった方々が集まって（不登校の子どもを）支える拠点が各地域にあれば良いのではないかと思います。		学校教育部 教育指導課 南北海道教育センター	BグループP7

No.	委員	質問・意見要旨		市の考え方	担当部局	担当課	会議録該当ページ
25	浜委員 (北海道函館児童相談所)	資料2-1 P21	【会議後提出の質問・意見】 「函館市こころの相談員（2名）を配置し」とありますが、スクールカウンセラーとは別の方なのか、また、有資格（公認心理師等）についてご教示ください。	こころの相談員は、スクールカウンセラーとは別の立場で北海道教育センターに常駐し、電話や面談等で児童生徒および保護者の相談に対応をしたり、学校の要請等に応じて学校を訪問し、児童生徒との面談や教職員への助言を行ったりすることで、いじめや不登校の未然防止および早期対応を図っております。 こころの相談員は、専門的知識を有する心理士等、教員免許状所有者、函館市こころの相談員事業に関する識見や経験を有する者に、教育長が委嘱しております。 なお、現在のこころの相談員2名は、教員免許状の他、公認心理士、民間の心理士資格（教育支援カウンセラー、教育支援スーパーバイザー）を所有しております。	学校教育部	北海道教育センター	—
26	本田委員 (函館大学)	資料2-1 P18~20	【会議後提出の質問・意見】 「(1) 子ども居場所づくりの整備推進」の現状と課題の部分で、不登校やひきこもりなど社会的に孤立した状態にある子ども・若者の居場所づくりについても、各施設・各事業の中で居場所としての機能を強化していくことが必要だと思います（例えば、図書館や児童館などの既存の施設を不登校のお子さんの居場所としても利用しやすいようにする、など）。	子どもにとって児童館職員は、身近で相談しやすい大人でもあり、日々の児童館での会話や行動などから、貧困、不登校、虐待、ヤングケアラーなどの福祉的課題を抱える子どもの早期発見が期待できるため、そのような子どもたちの居場所となることはもちろんのこと、課題解決に向け、学校を含めた関係機関などの連携強化に努めてまいります。	子ども未来部	子ども企画課	—
		資料2-2 P6~8	また、高校卒業以降の学生や若者が利用できる居場所に関しても、市として何か取り組みはあるのでしょうか。18歳までが利用可という施設もあるため、18歳以降の年代でも安心して利用し必要な支援を受けられる居場所について、今後検討していただければと思います。	本市では、若者が学習や読書等で自由に利用できるスペースとして「亀田交流プラザ」や「Gスクエア」、「青年センター」といった居場所が設置されています。 また、若者にとっての居場所とは、物理的な場だけではなく、子ども食堂におけるボランティア活動など、多様な活動の場自体が、若者の居場所となっているケースもあることから、居場所づくりの推進にあたっては、地域の様々な居場所の担い手と連携し、継続的な支援や整備に取り組んでまいります。	子ども未来部	子ども企画課	—
27	本田委員 (函館大学)	資料2-1 P21~23 資料2-2 P8	【会議後提出の質問・意見】 資料2-1 21ページ～「少年非行、いじめ・不登校等に対する支援の推進」の現状と課題や、資料2-2の具体的な施策の中に、スクールカウンセラーの配置について記載がなかったため、スクールカウンセラーの配置人数や配置学校数など、函館市での取り組み状況等を記載していただけると良いと思います。	函館市でのスクールカウンセラーの取組状況は、北海道教育委員会の事業として、北海道公立学校スクールカウンセラーが、拠点校で活動するほか、拠点校を除く40の小・中学校に対して拠点校から年1回（重点加配校は5回）派遣され、業務に従事しております。 また、函館市教育委員会の事業として、函館市立小学校に在籍する児童の心の在り様に関わる様々な課題に対し、児童や保護者、教職員の抱える悩みを受け止め、学校におけるカウンセリング機能のより一層の充実を図ることを目的に、市内の全38校の小学校に、函館市小学校スクールカウンセラーを13名配置しています。 なお、今年度は、各小学校に年間11回の派遣を行います。 以上の取組状況等について、計画に記載することを検討し、第4回の会議において、お示ししたいと考えております。	学校教育部	北海道教育センター	—

No.	委員	質問・意見要旨	市の考え方	担当部局	担当課	
<p>施策の方向 2 母子の健康確保と増進</p>						
<p>1 妊産婦・乳幼児に関する切れ目のない保健対策の充実 (意見等なし)</p>						
<p>2 学童期・思春期から成人期に向けた保健対策の充実</p>						
28	本田委員 (函館大学)	<p>【会議後提出の質問・意見】 資料2-1 27ページ～の「(1) 思春期・青年期保健に関する知識の普及促進」や「(3) 心のケアと相談体制の充実」に関して、性犯罪・性被害の予防に向けた取り組みや、性暴力被害者への支援、性の多様性に関する理解促進・啓発なども、思春期・青年期の相談・支援に関わる内容として取り組みの強化が求められていると思います。文章中への記載または具体的な施策の中に掲載できる事業はないでしょうか。</p>	<p>【子育て支援課】 ・市内の小学校などで子供が様々な暴力から自分の心と体を守る暴力防止のための予防教育である「CAPプログラム」を実施しています。 ・NPO法人ウィメンズネット函館に委託し、性暴力被害者相談窓口を設置し、電話や面接による相談のほか、必要に応じて医療機関や警察など、関係機関との連携した支援、各種手続きに係る同行などの対応を行っています。</p>	子ども未来部	子育て支援課	—
			<p>【市民・男女共同参画課】 当課では、性の多様性理解促進事業として映画上映会や講演会、出前講座等の啓発活動を行っています。また、女性センターにおいてセクシャルマイノリティ相談を実施しています。</p> <p>以上の取組状況等について、計画に記載することを検討し、第4回の会議において、お示ししたいと考えております。</p>	市民部	市民・男女共同参画課	—
		<p>また、メンタルヘルスに関わる相談業務の中で、学生・生徒やその保護者から、心の不調があっても“どの医療機関を受診したらいいのかわからない”との声をよく聞きます。函館市および近郊の精神科・心療内科等に関する一覧・リストのようなものを市で作成しHP等で公開していただくと、受診を検討している方の役に立つのではないかと考えています。すでに公開されている情報・資料等何かあればご教示ください。</p>	<p>北海道のホームページ上に、メンタルヘルスに特化した医療機関だけではありませんが(精神疾患にはてんかんも含まれているため)、指定自立支援医療機関(精神通院医療)指定一覧が公開されています。 市の障がい保健福祉課相談窓口では、メンタルヘルスに関する医療機関への受診の相談があった際、一病院を勧めることはありませんが、数か所のメンタルクリニック等をご案内しているところです。</p>	保健福祉部	障がい保健福祉課	—

No.	委員	質問・意見要旨	市の考え方	担当部局	担当課		
3 「食育」の推進							
29	本田委員 (函館大学)	資料2-1 P30~31 資料2-2 P12~13	<p>【会議後提出の質問・意見】</p> <p>施策の方向2の「3. 食育の推進」または他の事業の中に、『園や学校での食物アレルギー対策』について盛り込むことはできないでしょうか。食物アレルギーのあるお子さんが安全に、安心して園や学校で過ごせるような取り組みについて、函館市子ども計画の中にも含めることができれば良いのではないかと思います。</p> <p>函館市では「函館市学校給食食物アレルギー対策マニュアル」が作成・公開され、中学校3校のみアレルギー対応食（除去食・代替食）が提供されていますが、小学校の給食では対応できる学校がありません。今後、アレルギー対応食を提供できる小学校を作る、提供できる中学校を増やす等の計画はあるのでしょうか。</p>	<p>【子どもサービス課】</p> <p>函館市の保育施設におけるアレルギー対応は、厚生労働省『保育所におけるアレルギー対応ガイドライン（2019年改訂版）』に基づき、医師の診断指示による「生活管理指導表」の提出により、保護者と保育施設が連携を取り、各保育施設が個々の事情に応じた適切な対応を行っております。</p> <p>【保健給食課】</p> <p>函館市の学校給食における食物アレルギー対応は、函館市教育委員会において、学校関係者および小児科医から幅広い意見・提言を得て、平成25年12月に「函館市学校給食食物アレルギー対策マニュアル」を策定し、各学校で当該マニュアルに基づき、個別に学校給食における適切な対応を行うことにより、食物アレルギー事故の未然防止に努めています。</p> <p>以上の取組について、計画のどの部分に位置付けるかも含めて検討のうえ、第4回の会議において、お示ししたいと考えております。</p> <p>【保健給食課】</p> <p>小中学校におけるアレルギー対応食の提供については、平成30年度に開設した「函館市巴中学校親子学校給食共同調理場」に「アレルギー調理室」を設置したことから、当該調理場で学校給食を調理している中学校3校のみアレルギー対応食（除去食・代替食）を提供しておりますが、他の既存調理場に新たに「アレルギー調理室」を設置することは、施設や体制などの課題が多く困難な状況となっております。</p>	子ども未来部	子どもサービス課	—
			<p>また、保育所・幼稚園における食物アレルギー対策マニュアルの作成や、実態把握（園に管理指導票を提出している人数やエビベン保有人数など）はされていないでしょうか。</p>	<p>市では、各保育施設の指導監査の際に運営調書の確認項目・確認事項に基づき点検を行っておりますが、その項目の一つにアレルギー疾患を有する園児に関する点検項目があります。</p> <p>この点検項目は、アレルギー疾患を有する園児の実態を把握する網羅的なものではありませんが、この項目により食物アレルギー対応マニュアルの有無、エビベン®の保管状況等を施設ごとに点検しております。</p>	子ども未来部	子どもサービス課	—
4 周産期・小児医療等の充実（意見等なし）							
資料2-2 具体的な施策の展開（案）前編 個別事業							
30	浜委員 (北海道函館児童相談所)	資料2-2 P1	<p>【会議後提出の質問・意見】</p> <p>⑦子育てアドバイザー活用支援事業の子育てアドバイザーの人数をご教示ください。</p>	169名	子ども未来部	子ども健やか育成課	—

No.	委員	質問・意見要旨		市の考え方	担当部局	担当課	会議録該当ページ
31	浜委員 (北海道函館児童相談所)	資料2-2 P1	【会議後提出の質問・意見】 ⑧児童館における子育て支援事業の実施（合計）回数をご教示ください。	児童館における子育て支援は、児童館の日常活動の中で、児童の遊びや保護者との会話の中からの支援を行うもので、特定の行事等に限るものではないことから、回数等は集計しておりません。	子ども未来部	子ども健やか育成課	—
32	浜委員 (北海道函館児童相談所)	資料2-2 P2	【会議後提出の質問・意見】 ⑨子育て世帯訪問支援事業で、現時点での実績回数をご教示ください。	令和6年4月～9月の実績は以下のとおりです。（令和6年9月末現在） 利用者数：14人（実人数） 利用回数：188回 利用時間：253.5時間	子ども未来部	子ども見守り・相談課	—
33	浜委員 (北海道函館児童相談所)	資料2-2 P2	【会議後提出の質問・意見】 ⑫お父さんのための子育て講座の実施場所をご教示ください。	実施場所：函館市桔梗児童館 事業名：おとうさんとほっぴースマイルランド	子ども未来部	子ども健やか育成課	—
34	浜委員 (北海道函館児童相談所)	資料2-2 P2	【会議後提出の質問・意見】 ①病児保育事業の開設予定機関についてご教示ください。	市立函館病院 事業所内保育施設「愛児園」において、10月から実施	子ども未来部	子どもサービス課	—
35	浜委員 (北海道函館児童相談所)	資料2-2 P5	【会議後提出の質問・意見】 ⑦保育所地域活動事業の実施設名についてご教示ください。	R6年度実施予定施設：青い鳥保育園、つくしの子保育園	子ども未来部	子どもサービス課	—
36	浜委員 (北海道函館児童相談所)	資料2-2 P5	【会議後提出の質問・意見】 ⑤特定教育・保育施設質向上事業で、実際の補助金額について、可能であればご教示ください。	R5年度実績：46施設 55,170,000円	子ども未来部	子どもサービス課	—
37	浜委員 (北海道函館児童相談所)	資料2-2 P5	【会議後提出の質問・意見】 ⑥保育士の処遇改善と人材確保で、保育所等で勤務していない保育士有資格者に対する情報提供について、具体的な提供方法についてご教示ください。	年一回、保育所等で勤務していない保育士有資格者に向けた就職支援研修会を開催しており、平成29年に北海道から取得した市内在住の有資格者名簿をもとに把握している対象者に対する案内はがきの中で、保育士支援の取り組みについて情報発信しているホームページを案内しているほか、令和5年度からは、インターネット広告を活用した情報発信やハローワーク等でのチラシ配布を行っています。	子ども未来部	子どもサービス課	—
38	浜委員 (北海道函館児童相談所)	資料2-2 P7	【会議後提出の質問・意見】 ⑬函館コミュニティプラザの入館者数の算定方法についてご教示ください。	館内に赤外線カウンターを設置し入館者数を計測しております。	経済部	商業振興課	—